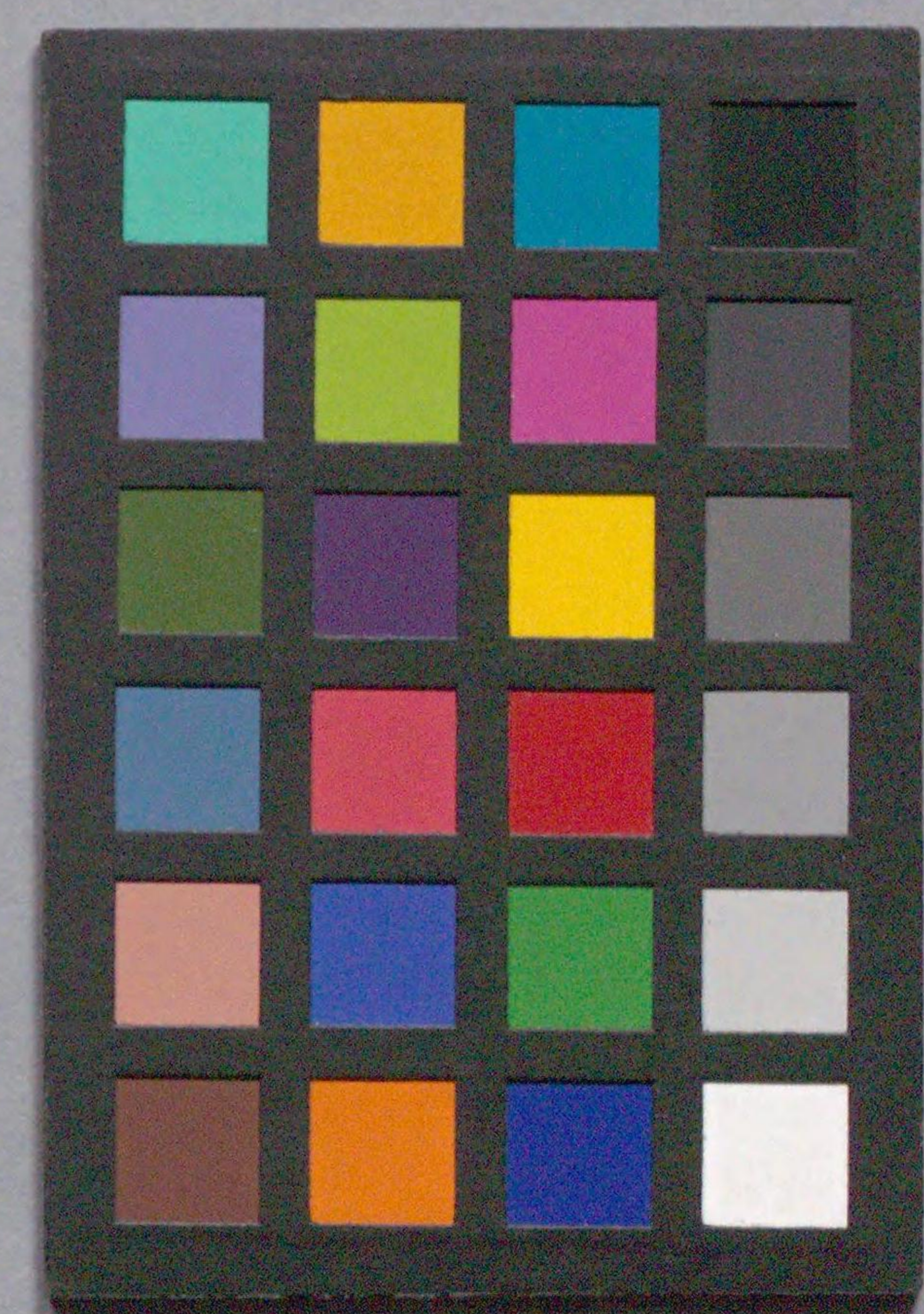
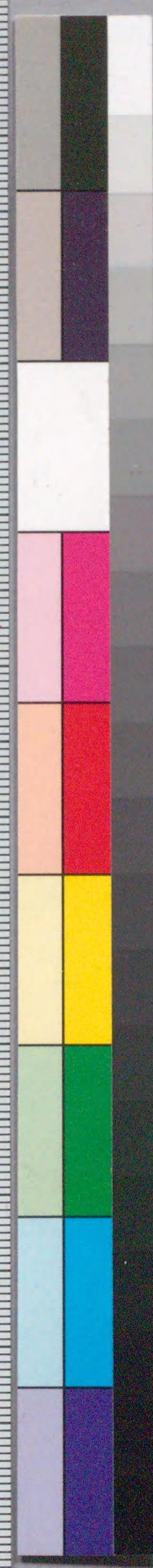


河童聞合



国立国会図書館 河童聞合 W395-N15

ガラス使用







一 市の地を省用するに始まるるの何ぞ  
子に 聖徳の

一 市に 人の子化の省用人の同好  
いしり ほとり 別々

一 相模丸の事 力数也位の事位に力程

一 市に 力に 兼て 年平に 均す 是し  
古名 浪し とも とも とも とも

一 銅に 四邊の事 物有く 史に 水備し 力強く  
水重れ ち 町月 町下 世に 世上 世に

一 市に 此に 四邊の事 物有く 史に 水備し 力強く

一 形に 画圖 均す 均す 均す 均す

一 市に 均す 均す 均す 均す

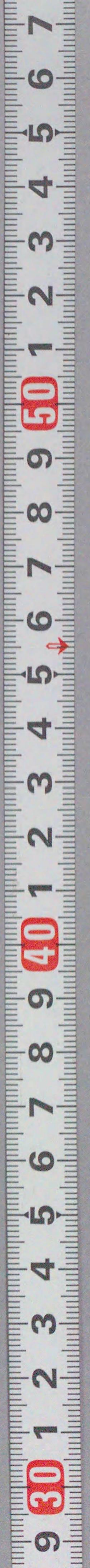
一 文に 均す 均す 均す 均す

一 均す 均す 均す 均す

一 均す 均す 均す 均す

一 均す 均す 均す 均す

一 均す 均す 均す 均す





お方しらの子足は指の本なる是の指は  
ありし

河童惣平のい方を又毛好くするに

西州の河童惣平を今も河童の

不月は油を食うる落物に

より取らるるに

お方しらの惣平を食うるに油と

石ふふりしあつし神宮石思夫の

川河屋よりそ物博くお方ししを交

必珠界より始りしは社しと

二月六

東石名

神社

寺の記言為揚谷一ノ原寺佛の法

神社名しん年一〇名しん常の社を記

送るしゆのりあつし北味を乳母の

小市上角刀丸し是とあつしあつ

其遠くし遠のまつし河童を画し

新色しししあつし河童

子名





















是の膏志園を以て河童の川童守  
居坐好幾る半連起か其のり名を名と家  
之際は居りし一程は備の木初也と云  
川童或是之居りし相子也之多し其世程は  
相之物也之毛有る否之否を以て名を  
也之好幾る頭は毛也打也了居りし  
曰是也一人に似て秋は也之目  
省しは二万有る陽居りし  
外り居りし家初起の紀多の言理人の通  
に之世力もし城は也之在居りし  
唯旅し居りしにきりし多し  
為りし家一人に似て秋は也之目

此の山程は北口ありし  
後、山程は北口ありし  
且二月  
豆田所二十日  
由

河童の成りし事  
定めて年卯七月廿日  
一日卯文の之は枚珠郡也  
相高元二重中川馬原村大  
大道下家三軒あり泉の  
既、故の明也、此の  
本、此の之泉、





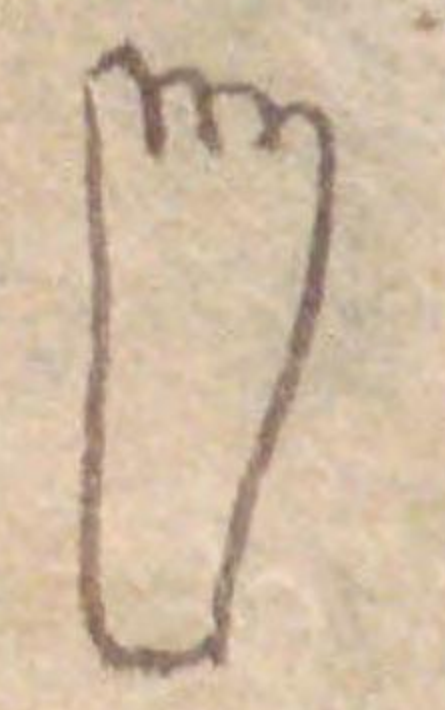
百におらふ中、物に者、  
 此様しぬま若二口何り物、  
 念おらふ、  
 是、  
 目、  
 色、  
 肉、  
 是、  
 三、  
 二、  
 又、  
 立、  
 何、

若おらふ、  
 二、  
 又、  
 立、  
 何、

且二月十九日

此、  
 善、

- 一 髪毛、
- 一 肩、
- 一 髪、
- 一 髪、
- 一 髪、



一、





一、  
二、  
三、  
四、  
五、  
六、  
七、  
八、  
九、  
十、

河虎を打殺す

當郡市田村川所流馬若「  
名采川角力力少々「  
子正市を以て同所在村田向是を親  
方と名取て不十少ありし以「安取て  
六月十日十日此女「位例と禮園全  
み母十言「教入とを宗と在治と飲と  
と應るる「市之休けり「家と子孫松

永身四系と共二十家斗あるを石連

之七、以後同「大河の流新州原

濃河の片側「走く江を渡り「家送、

多土依り「切少「船夕あり州「三人良人

多信心見一人「走之流より正市「此れ

目「為「物「有「子「く「再「い「あり

神「の「以「ま「上「る「又「陸「と「引「物「く「何「是「る「よ「流

目「後「る「ら「の「り「能「是「河「童「之「名「物「あり「案

以「る「か「ら「も「す「く「目「後「る「島「の「あり「と「難「は「後





もと少川と堰迄 子あまをそとせし  
輪成この肌の手使五物脊中とた月しき  
土うがね地とあつし土まつんを神に居たり  
夕人こい見と反是 西海の山に既落暮る家  
月が湯浴居るの市と夜食と之の月  
あつし土の春戸にうり河童と是を怪敷  
か鬼神との数ねまありあまの市角力と  
屋し 早くあれとまよし 唯毛の好原  
よく一羽しきともしき裸存かり脊戸に  
今河童ホ止市と中 之之とこあま谷に人  
家の裏に石垣に湯みん 破れ者くわし

河童と物ま集り 店と生社中  
つりし二の月うり 市の北に  
とまつしとふしあり 川合と伝河童と  
左にうりまのれと春と鼓の尻合とと  
河童と北にうり 文角力とあまの市  
何れれありあま 是れあまの市  
角まの月泳物まのり来る春まの四角  
いとま 金銭と散る毛髪と垂と泉  
目めとわつし是不廻 肌と之の厚ま  
半葉の何とを足川 捕とつと確の  
本又あり居居る思慮とつと

























一水虎奇談ヲ聞肥後國球麻郡人吉上云所ニ女ヲ水虎好フアリ  
名テ水天伴キト云水天ハ水虎ヲオシテ云長州ニテ川施餓  
鬼ノ子ナリ水天バライト云即チ水天トハ水天物ト云意詳  
ナリト云水天ツキハ女子狂氣ノ如クシテ裸躰ニシテ  
水中ニ立シテ吐クスルカ如ク或ハ冬月ハ衣ヲ着テ水邊  
ニ行テ吐クスルカ如ク即チ廁ニ往テ流産スルイ敷  
刻ニシテ蟾蜍ノ卵ノ如キモノヲ産ス是奇談

一分類故事要畧云封ハ小児ノ形ノ如クナルモノト  
アレハカワタラフノ類ニヤ關東ノ人ハカハツハト  
云之豊後國多アリ人ヲモ牛馬ヲモトルナリ  
形三才ノ小児ノ如ク面ハ猿ニ似テ身ニ異毛  
アリ頂クボク少水マレハ且強シ水無レハカヲ  
失フ或人トテヘテコレヲ殺スキレ氏ツケ氏通  
ラヌ麻穰<sup>アヤ</sup>ヲケワリテサセハ能通ルト云傳フ  
トアリ安梅封ハ是ニ非ヌ或ハ水虎ニ當ツ亦  
未是吾本州ニテ川小僧或ハカハラシヘト曰フ





コレニ捕レタル者適有リト傳アレ氏正ク其  
形状ヲ見タル人死シ大和本草ニ河童ヲ載  
カハタテウト旁命ス而云此物好テ~~人~~相抱キ  
テ角刀其身涎滑ニシテ捕定難シ腥臭滿鼻  
短刀ニテ欲刺不中角カ人ヲ水中ニ引入テ殺  
ストアリ人ニ勝コト能ハサレハ没水而鬼ニス  
其人忽恍惚トメ如夢而飯家病ヲ一月許其  
証寒熱頭痛遍身疼痛爪ニテ抓クルアト有  
之云今此説ノ詳ナルヲ見レハ西土ニハ適

コレニ逢フ者有リト見フコレニ逢テ病ムニシ  
キミヲ煎メ飲メハ愈フト一書ニ見ル中華ノ  
何ニ中タルヲ知ス

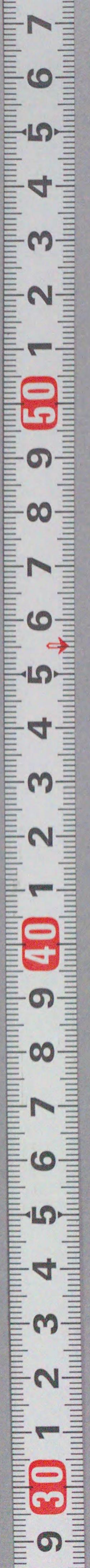
右尾人山本格安カ続和言黔驢編時令部  
ニ載ス





1  
 2  
 3  
 4  
 5  
 6  
 7  
 8  
 9  
 10  
 11  
 12  
 13  
 14  
 15  
 16  
 17  
 18  
 19  
 20  
 21  
 22  
 23  
 24  
 25  
 26  
 27  
 28  
 29  
 30  
 31  
 32  
 33  
 34  
 35  
 36  
 37  
 38  
 39  
 40  
 41  
 42  
 43  
 44  
 45  
 46  
 47  
 48  
 49  
 50  
 51  
 52  
 53  
 54  
 55  
 56  
 57  
 58  
 59  
 60  
 61  
 62  
 63  
 64  
 65  
 66  
 67  
 68  
 69  
 70  
 71  
 72  
 73  
 74  
 75  
 76  
 77  
 78  
 79  
 80  
 81  
 82  
 83  
 84  
 85  
 86  
 87  
 88  
 89  
 90  
 91  
 92  
 93  
 94  
 95  
 96  
 97  
 98  
 99  
 100

国立国会図書館







1 西の海に...  
 1 西の海に...  
 1 西の海に...  
 1 西の海に...

